

2018年度JMRC四国 運営委員会 議事録

開催場所：愛媛県紙産業技術センター

開催日時：2018年12月9日 9:00～12:00

1. 開会宣言

運営委員長

2. 開会挨拶

運営委員長

3. 出席者確認 (○=出席・×=欠席・△=遅刻・▽=早退・?=無届欠席)

原 (○) 佐藤 (○) 藤澤 (○) 八塚 (×) 尾崎 (○) 山本 (×) 高木 (○)
西森 (○) 松原 (○) 大西 (○) 和田 (○) 武政 (○) 金井 (×)

(出席 10名・欠席 3名・遅刻 0名・早退 0名・無届欠席 0名)

JAF 松本様、真野様

4. 議事録作成者

和田

5. 配布資料の確認

アジェンダ、JMRC 四国収支報告書、見舞金制度会計、ジムカーナ報告書（会計、共通規則）、
ダートラ会計報告書

6. 報告事項

全国協議会

全国共済について

法的には問題があるが、今のままひっそりと続ける。

保険金は現代に見合っていない。

スポーツ安全保険の方が内容が良かったため、移行していきたい。

反対意見として、JMRC の意味がない ⇒ 結果、今のまま

本来 JAF が実施すべきとも考えられるため、JAF に話をしてみる。

本体会計

毎年 30 万円の赤字となる

11/27 の不明入金はサンライズ

本件を調査するために、口座の代表者を佐藤氏に変更した

共済委員会（代理報告：和田）

前回報告から特別な事項なし

切手代はきちんと管理できている

ラリー部会

オールスターラリー（関東：千葉）

エントリー約全 40 台

四国から 0 台

6 台の要望があったが、四国の総台数が 7 台のため、極めて困難

グラベルイベントだがダートタイヤのため、エントリーが少なくなった

各地区へのエントリー依頼も遅かった

赤字は JMRC 関東で負担

TRD カップ (GAZOO の上位イベント : 全 5 戦)

JBL がスポンサー
四国はてっぺんラリーと併催
オーガナイザー主体 (上納金なし)
クラス区分は未決定

TGR は各地区 1 戦ルール廃止。実施希望クラブが開催
広島 3/24 地区戦併催

日本での 2019 年 WRC は見送り

2019 年オールスター (秋田)
10 月 19 日~20 日

ジムカーナ部会

JAF カップ (北海道) について
地震の影響が心配されたが無事開催
コースはウエットとドライが混在
四国から 2 名

西フェス

5 名参加
地区対抗 四国に有利だったが、いつも通りの結果

2019 年

JAF カップ 関東 つくばサーキット
西フェス 九州 (ダートラと同時開催) 恋の浦 (その次は四国の可能性)

共通規則は大きくは変えていない
抜け項目を追加し、表記順を日本ジムカーナ統一規則と合わせた

会計報告

SKMC の 1 戦減で収入減 (35000 円くらい)

ダートトライアル部会

会計報告 (未監査)

徳島工短の収入と支出を記載する
香川スポーツランドコース整備はコースオーナー体調不良のため 3 月に実施
徳島工短への報告を来週 (12/16) 行う予定
2017 年からコース公認費相当を部会から支給する (全戦で 5 万円) ルール
工短補助もあるため 2018 年は支払保留とし、2019 年について各クラブの収支等から判断する

JAF カップ

恋の浦
参加は 1 台のみ
地区対抗 (中国と合同) は優勝
※黒木 1 位
ケータリング 2 万支出
2019 年は北海道 (スナガワ)
他地区は実施している補助金が四国はないため、募金を集める等を検討

西フェス

今庄

四国から3台参加。開催時期の関係か、減少
地区対抗（中国・九州と合同）2位
ケータリング じゃこ天 200枚
来年は九州

共通規則

年度修正等

クラス区分 N から PN 部門を分離して作成（二輪駆動 排気量区分なし）

新コース

高知：アクセスが悪く宇和島から1.5時間
パドックも狭く、水、電気なし
徳島；美馬市と友好的な関係を築き、折衝を継続中

徳島と合わせて継続検討し再来年以降の使用で検討

審査部会

ジムカーナ・ダートラとも特段の問題はないと認識している
ジムカーナ最終戦のコースが短かった（40秒くらい）
⇒第一回審査委員会で確認すべきでは。
審査委員会より前で主催者が気づくのでは。。。
ルール上は問題ない
審査委員会で指摘できるのはルール違反の場合（ゴールから停止線までの距離等）
指摘はする方向で考える

その他

ヘルメット

貸し借りの際に数をチェックする必要がある
ジムカーナ車両による運搬を考慮し、箱を袋に変更して欲しい

申し送り事項が共有されていない

しばらくは様子見だが何らかの対応は必要。

審査部会長

午後の審査部会で検討
審査委員長経験者が望ましい。

オートテスト

バックの時にドアを開けていいか？
現状はルールがないため、特規で記載する必要あり

7. 審議事項

ヒルクライム・オートテスト部会の新設について

参考：イベント結果

ヒルクライム参加選手の意見

ジムカーナ等はスタートからゴールまで見られるのは恥ずかしい

ミニ FM 等の改善で老若男女を問わず好評

ヒルクライムの公認競技は四国のみ

オートテストは全国でイベントが行われている
2019年にはオートテストの開催規定ができるのでは？

まずは部会というより、四国内の窓口担当として四国のイベントをまとめ、共通規則の作成等を行う

課題

担当を設置すると、窓口一人の責任となるのでは？
スポーツ安全保険はどうするか？
現状では結論でないため、継続審議

8. その他

JAF様より

オートテスト

12月16日10時～徳島工短で開催

1月の表彰式はクレメント高松

JAFから案内が郵送されている

徳島工短に招待状

9. 次回委員会開催日時

1月13日 10:00～ JRホテルクレメント高松

10. 閉会宣言

以上